

# あいさつ運動の好事例

総社市立総社小学校

(児童数 763 名 教職員数 70 名)

広がるあいさつ運動！  
～ 委員会から地域・学校全体へ連携の取り組み ～

## アピールポイント

昨年度に引き続き、計画委員会、生活委員会があいさつ運動を行っていたことがよい機会となり、全校及び地域にあいさつ運動が広がっている。地域の方や6年生のあいさつボランティアが校門やピロティに立ち、登校してきた児童たちと大きな声で気持ちよくあいさつを交わしている。今では地域の方からもあいさつがよくできていると言われることが多くなった。

## 実際の様子



## 取組の概要

### ■児童生徒の実態

計画委員会、生活委員会が中心になってあいさつ運動を行っていた。しかし、朝以外の時間や、地域での広がりが難しく、先生にはできても地域の人や来校者に対してはなかなか十分なあいさつができていなかった。

### ■活動内容

- ・ 毎月第1週目にあいさつを生活目標にして、特に意識できるようにした。
- ・ 計画委員会は中庭で、生活委員会はピロティや校門付近で、それぞれ毎朝当番を決めて、登校してきた児童に大きな声であいさつをした。
- ・ 地域や6年生からもあいさつボランティアを募り、登校時間に校門付近であいさつ運動を行った。また、登校後も校内を大きな声であいさつをして回る児童もいた。
  - ・ 2年生が「あいさつ名人」として校内をあいさつをして回るなど、学年に応じた取り組みも行っている。
- ・ 総小のあいさつ目標『「大きな声で」「すすんで」「顔を見て」』を決め、のぼりを作って校門付近に立てたり、校内にも掲示したりして、意識の高揚を図った。

### ■取組の参加メンバー

5、6年生の委員会やあいさつボランティアの児童、あいさつボランティアの地域の方（保護者を含む）、教職員が参加。

### ■成果・効果

気持ちのよいあいさつが校内外に広がり、たくさんの児童が進んであいさつができるようになり、あいさつの声も大きくなった。また、地域の方からもよくあいさつができるようになったと誉められることが多くなった。